

中学生の読み聞かせ

佐賀小学校では、今年は年4回、佐賀中学校から読み聞かせに来てもらうことになっていきます。

6月3日、1回目の読み聞かせがありました。中学3年生の2人が6年教室に来てくれました。本は「にわとりぐんだん」という題でした。時間が少しあまり、中学生との交流タイムになりました。本からのつながりから、読んでくれた中学生の人の家でにわとりを飼っていて、そのにわとりが畑を荒らす話をしてください、安倍総理のものまねも見せてくれました。6年生は大爆笑でした。最後は、2人に将来の夢を聞きました。介護福祉士や英語を使う仕事をしたいそうです。



読み聞かせをしてもらい、その上将来の夢や中学校の話も聞かせてもらえました。本を読んでもらって、楽しい話もしてもらったのですごく楽しかったです。中学生になったら、ぼくもこんなふうに楽しい読み聞かせやおもしろい話を小学生に聞かせてあげたいと思いました。

(佐賀小学校 6年 大塚 翔利)

ロイノートにハマってる

6年生ではロイノートというアプリを使って授業をしています。ロイノートの仕事は自分の考えを書いて先生に送ることができて便利です。キーボードもローマ字打ちにして練習もしています。先生もロイノートの使い方を必死で学んでいます。みんなタブレットが使って楽しそうです。理科の時間では小腸の画像を先生に送ってみんなでキャーキャー見合いました。算数では一人ひとり数直線をかいてロイロで説明して間違いをみつけることができました。国語でも人物の関係図を描いて、みんなで人物の気持ちを考えました。一番いいと思うのはい一つのページに10人の意見が集まることです。まだまだ使える機能がありそうです、これからも授業がワクワクです。



(田ノ口小学校 児童会 5名)

よりよい学校をめざして

大方中学校では、6月に生徒総会が行われました。生徒総会とは、日頃の生活の中で困っていることや疑問に思っていることを皆で出し合い、どんな学校であるべきかを全校で考える会です。私たち生徒会執行部は今年の生徒総会を自分たちの力でやり抜くという目標を立て、何か月も前から準備を始めました。

そして本番、最初は場の空気が全体的にかたくて不安になりましたが、会が進むにつれてだんだんと話しやすい雰囲気になっていてのを感じました。皆から意見をもらう場面では、周りの人と相談する声があちこちから聞こえ、学年関係なく手を挙げて発言できていました。私たちも事前に決めた自分の役割だけでなく、臨機応変に対応して最後までやり遂げることができ、今年の生徒総会は今までの3年間で1番すばらしいものとなりました。



私たち生徒会執行部はこれからも自分から発言し、よりよい環境を皆で作っていきける学校をめざして頑張っていきたいと思います。

(大方中学校 3年 金子 美空)